

# 「心に残る文化財子ども塾」 松江市立意東小学校

## 1. 活動の概要

5月28日(木)、松江市立意東小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。「奈良時代の食文化と大仏作りにかける思い」という主題のもと、はじめに出雲国府跡から出土した遺物(須恵器)の破片に触れて、古代の生活について考えてみました。いろいろな形の破片から元の形、使い方、文字が書いてあることなど、気づいたことを発表しました。次に、古代出雲歴史博物館の職員が、奈良時代の食文化や、なぜ土器に文字を書くのか等を説明しました。意東小学校の地名につながる「意宇」の墨書土器も紹介しました。

そして、講堂に移動して、大仏パネルに挑戦です。事前に大仏造営を紹介した映像を見てもらっており、当時、造営に係わった人数や期間を確認し、作業を始めました。実際の造営と同様に台座から頭部に向かって積み上げます。みんなで協力して、予想より早くできあがりました。

完成後は、大仏について博物館職員が解説しました。

## 2. 活動の様子

### 1)「須恵器」について学ぶ



須恵器の破片から何がわかるかな？



食器や文字が書かれた破片があります

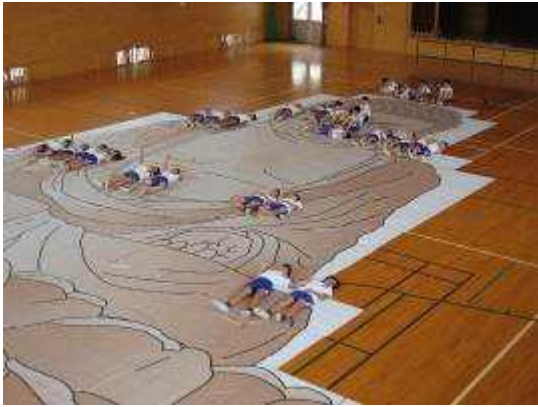
### 2)古代体験活動～大仏パネル～



大仏は台座から積み上げます



もうすぐ完成です



大きさを体感！



### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから…

- ・本物の土器に触れてよかった。
- ・いろいろな形や色大きさの土器があった。
- ・土器に字が書いてあってびっくりした。
- ・大仏を実際に見たことがなかったけど、大きさがわかった。かなり大きかった。
- ・友達と一緒に土器のことを考えたり、大仏パネルを作ったりして楽しかった。

#### 2) 担任の先生から…

体験活動ができて良かった。今後も様々な体験的活動を望みます。

#### 3) 古代出雲歴史博物館から

時間的に密な予定でしたが、事前に大仏造営に関する映像を見てもらえたことで、円滑に奈良時代の生活の様子  
の学習から大仏パネル作りに移行できました。土器について考える真剣な表情や、元気いっぱいパネルを探す  
子どもたちの姿を見て、有意義な時間を過ごさせていただきました。

児童の皆さんには、今回の子ども塾が歴史に興味を持つきっかけとなれば大変喜ばしいことですし、本物の土器  
を触ったことをいつまでも覚えていて欲しいと思います。